

令和 6 年度実施概要

学校名

与論町立与論小学校

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 与論のいいところを探そう	3 年	ゆんぬ学
2. 与論の文化や行事について調べよう	4 年	ゆんぬ学
3. 与論の恵みの味	5 年	ゆんぬ学
4. ユンヌフトゥバに親しもう	3 年～6 年	ゆんぬ学

○「与論のいいところをさがそう」3 年

自分たちが今まで暮らしてきた与論のいいところについて調べ、発表をした。子供たちは、昔から身近にあったものについて詳しく調べてみると発見があったり、身近だけれど知らなかったことがあったりして驚いていた。また、サザンクロスセンターに見学に行き、社会科の八方位の学習と繋げながら、北には何があるか、南には何があるのかを、実際に目で見て調べることができた。

○「与論の文化や行事について調べよう」4 年（※ 十五夜踊りは4～6 年男子）

与論の伝統的な文化や行事の中で、十五夜踊りや食べ物、芭蕉布について調べた。十五夜踊りについては、運動会等の機会に踊り、体験することができた。芭蕉布は民俗村に行き織体験をした。そして調べたことを海洋教育フェアで発表した。与論のことを知っているようで知らなかったので、調べ学習や体験を通して与論島への関心をさらに高めることができた。

○「与論の恵みの味」5 年

与論の特産物であるさとうきびを栽培し、黒糖を昔ながらの方法で作ることで、先人の知恵や苦労を体験した。さとうきびの植え付け後は、除草などの作業を週 1 回くらい行い、成長を見守った。きびかりのやり方については、地域の方に教えていただいた。民俗村での黒糖作りは大変であったが、与論の伝統的な方法で黒糖を作り、苦労と共にそれを味わうことができた。

○「ユンヌフトゥバに親しもう」3 年～6 年

与論民俗村の菊さんに方言指導をしていただき、ゆんぬ劇（方言劇）を創り上げる活動などを行った。子供たちにとっては、身近な場で使われなくなってきた地元の方言であるが、劇の練習を通して方言に親しみながら昔話を演じる等で、表現することができた。

